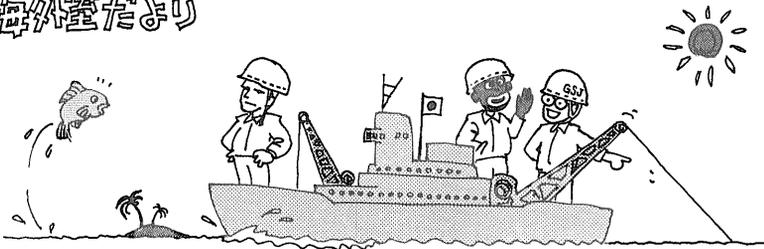


海外室だより



No.13

沿海鉱物資源探査コース集団研修開始 61年度沿海コース集団研修は5月12日より始まりました。

昭和42年創設から数えて20年目の今年度コースで研修を終了した者は30ヶ国 200人を超えました。アジア 中近東 アフリカ 南米 オセアニアの10ヶ国から11人の研修員が来日して2週間の日本語研修のあと 6月2日から地質調査所での技術研修に入っています。今回 16年ぶりにパキスタン回教共和国の研修員と オセアニア州から初めて フィジー国の研修員を迎えています。

最初の3日間に各研修員は 自国の地質 海洋資源 海洋開発の組織 海洋開発の現状を発表しました。

地質ニュース 379号(1986年3月号) 海外室だよりに掲載のとおり 今回からカリキュラムの内容を大幅に改訂しています。

6月中は地質学 地球物理学などの基礎科学を学び 7月—9月には 海洋地質調査 海上物理探査の講義と実習を受けます。その間に地質調査船 白嶺丸と海洋訓練船に乗り 実際の調査方法を習得します。

9月には石油探査について 海上地震探査から油層工学まで 一連の科目を学びます。最後の2ヶ月間には船上実習でえたデータなどを材料に 研修員がおのこの個別研究を行うことにしています。

研修員の氏名と職域は次のとおりです。

ラウロ (ブラジル) サンパウロ技術研究所

ミシェル	(ブラジル)	サンパウロ大学海洋研究所
王 小波	(中国)	国家海洋局
テビタ	(フィジー)	鉱物資源局
ニイ	(ガーナ)	燃料動力省
ラト	(インド)	インド石油公社
ワリント	(インドネシア)	セブ石油学院
ナクヴィ	(パキスタン)	地質調査所
ゴンザレス	(フィリピン)	鉱山地球科学局
スラボル	(タイ)	鉱物資源局
アドナン	(トルコ)	トルコ石油公社

では各国語であいさつしてもらいます。

こんにちは ごきげんいかがですか

ボア タルデ コモヴァイ (ポルトガル)

シア ラ ハオ ニ ハオ (中文)

ヤードラ ブーラ (フィジー)

オジェ テオヨ テェ (ガーナ)

サバ サム アブケイサ ハイ (ヒンズー)

スラマ セダン (インドネシア)

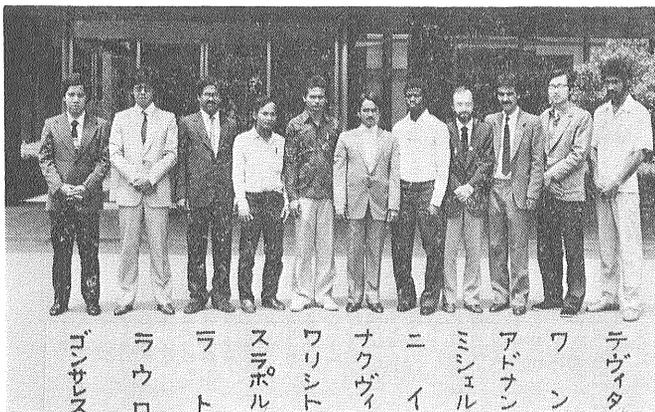
サラム アレ トクム アブカイサイエハイヌ (ウルド)

マガンダン カムスタ カ (タガログ)

サワスジ クラブ サビデール (バサタイ)

メルハバ ナシルシニ (トルコ)

(武居・木下)



写真

1986年度沿海鉱物資源探査コースの研究員

ゴンザレス
ラウロ
ラト
スラボル
ワリント
ナクヴィ
ニイ
ミシェル
アドナン
ワ
テビタ



① エチオピア



② ケニア



③ ガーナ



④ シエラ・レオネ



⑤ スワジランド



⑥-a 南ア連邦



⑥-b



⑦ イタリア



⑧ スペイン



⑨ フランス



⑩ アイルランド



⑪-a イギリス



⑪-b



⑫ スウェーデン

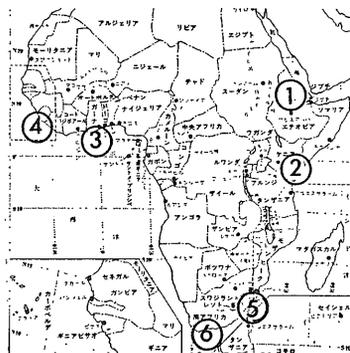


⑬ ノルウェー



⑭ ソ連

アフリカ



ヨーロッパ



紋どころ 最終回

アフリカ

1) エチオピア 地質調査所

(Geological Survey of Ethiopia)

世界最古の帝国であったエチオピアも 1974年9月革命によって共和制に移行しました。ハム系のエチオピア人は アフリカの黒人の中でも全く異った顔立ちをしています。公用語はアムハラ語と英語を併用しほとんども敬けんなキリスト教徒です。

2) ケニア 地質調査所

(Geological Survey of Kenya)

ケニアは1963年に独立し 当初はウガンダ タンザニアと三国共通の通貨 航空路線を持っていましたが 現在はそれぞれ独自の運営をするようになりました。アフリカ諸国の紋章は 動物 とくに百獣の王ライオンを図案したものが多いようです。ケニア地質調査所は独自のマークはなく 国の紋章である槍を持ったライオンを使用しています。

3) ガーナ 地質調査局

(Geological Survey Department)

チョコレートの原料カカオの大産地であるガーナは アフリカの中では割合いに早い1957年に独立しました。公用語はアシヤンテ語と英語を併用し 地質調査局は国の紋章である「自由と正義」を台にした二羽の鷲のマークを使用しています。

4) シエラレオネ 地質調査局

(Geological Survey of Sierra Leone)

アフリカには51の独立国がありますが シエラレオネもガーナとほぼ同じ1961年に独立しています。首都フリータウンの名が示すように 独立の喜びにあふれた命名です。国の紋章も統一 自由 正義の台に立つ3頭のライオンがデザインされ 地質調査局もそのマークを使用しています。アフリカ西南海岸諸国は 独立前には積み出し産品によって 胡椒海岸(シエラレオネ) 黄金海岸(ガーナ) 奴隷海岸(カメルーン) などの俗称で呼ばれていました。

5) スワジランド 地質調査・鉱山局

(Geological Survey and Mines Department)

スワジランドは 南ア連邦にとり囲まれたような小国ですが アフリカには珍しい王国です。地質調査・鉱山局は国の紋章であるライオンと象のマークを使用しています。

6) 南ア連邦 地質調査所
(Geological Survey)

地球上のレアメタルの鉱床の大部分を保有している有数の鉱物資源国です。6-a は国の紋章で 6-b は公用語のアフリカーナで Geologies Opname Geological Survey を図案化したものです。レターヘッドには両方のマークが入っています。

ヨーロッパ

7) イタリア 地質調査所
(Servizio Geologico)

イタリア地質調査所はイタリア共和国と書かれた国の紋章を使用しています。

8) スペイン 地質・鉱山研究所
(Instituto Geologico y Minero De Espana)

16世紀には七つの海を征服したスペインも 現在はイベリア半島の一角を占める小国になっていますが かつての範囲にはスペイン語とスペイン人の末えいを残して来ました。現在 スペイン語人口は3億人 中・南米19か国の公用語となっています。

9) フランス 地質・鉱物研究局 BRGM
(Bureau De Recherches Geologiques et Minieres)

フランス地質・鉱物研究所は BRGM の名で世界に知られています。この組織は日本の地質調査所と金属鉱業事業団を併せたような機能を持ち 調査だけでなく開発も行なっています。USGS と同様に世界的規模で活躍しております。

10) アイルランド 地質調査所
(Geological Survey of Ireland)

北海道よりやや小さいアイルランド共和国は 1937年に英国から独立して 最初はエール共和国 のちにアイルランドと現在の国名になりました。地質調査所は 国の紋章であるハープを使用しています。

11) 英国 地質調査所
(British Geological Survey)

スペインに代って七つの海を制し ユニオンジャック

に日の沈む所はなかった大英帝国は 世界の文化の中心としても古い歴史を誇り 地質調査所も 1835年(天保6年)に設立されています。われわれは俗にイギリスと呼んでいますが 正式の国名は「グレートブリテン及び北部アイルランド連合王国」略称はUKです。

11-bは地質学者協会のマークです。一般に英国では学会とか協会への入会資格が厳しく 協会員であることは社会的信用の目安とさえされます。

12) スウェーデン 地質調査所
(Sveriges Geologiska Undersökning)

13) ノルウェー 地質調査所
(Norges Geologiske Undersøkelse)

両者とも創立は1858年で 英国地質調査所の150年に及びませんが 120年余の長い歴史を持っています。とくにスウェーデン地質調査所は キルナやエリバレなど鉄鉱石産地を有していることから 伝統的に鉱物資源探査に実績を持っています。大きな王冠の下の三つの王冠は スリークラウンズと言って スウェーデン王室の紋章を示します。1978年に首都ストックホルムから60km北にある学園都市ウプサラに移転しました。さらに1982年に いわゆる行革をして 鉱物探査 水理地質 応用地質部門はコンサルタント会社として独立し 750名以上いた職員も 現在は300名前後(うち研究員は150名前後)に減っています。学園都市への移転 定員削減など なんとなくわが地質調査所と似ているような気がします。

14) ソ連 地質省
МИНИСТЕРСТВО ГЕОЛОГИИ СССР

日本に較べて面積で59倍 人口で2倍の超大国ソ連は地質がひとつの省となっている数少ない国です。

国名は正式にはソビエト社会主義共和国連邦 USSR と言います。

おわりに

地質ニュース3月号より4回にわたって延べ42か国の地質関係機関の紋章を連載してきました。どの紋章も創意あふれるデザインで お国柄を反映し われわれを魅了してくれます。わたくしたちも是非素晴らしいマークを持ちたいものだ と 稿を終るに当たっていよいよその感を深めています。どなたか良い案はないでしょうか。

(桑形)